

PROGRAM

全国初！複数大学による共同学部設置

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学

3大学共同で 生命科学系新学部を開設

関西大学では、大阪医科大学(大阪府高槻市)、大阪薬科大学(同)と共同で、21世紀「生命の時代」を担う人材の育成を目的として、生命科学系の新学部を大阪医科大学の敷地内に設置することになった。これは文部科学省が新たに打ち出した複数大学による共同学部設置制度に基づき、3大学の共同学部として設置するもので、2010年4月の開設を目指している。



左から学校法人大阪医科大学・國澤隆雄理事長、学校法人関西大学・森本靖一郎理事長、学校法人大阪薬科大学・矢内原千鶴子理事長

●医学・工学・薬学・看護学などの学際拠点に

これまで大学間の単位互換や連合大学院はあるが、複数大学による共同学部の設置に向けた取り組みは初めてだ。文部科学省は2008年度中に大学の設置基準に関する省令を改正し、設置を可能にする予定で、早ければ2010年4月から新学部がスタートする。

学部名称は未定だが、生命科学部、生命医科学部あるいは生命健康学部といった生命科学系の学部とし、学生定員は1学年約200人規模で検討している。学科あるいはコース構成についても未定だが、生命医科学科、生命薬科学科、医工学科、生命情報科学科、医療経営学科、看護学科またはコースを想定している。

医学・工学・薬学を学際的に学んだ人材、かつ専門知識に加えて教養、心理、倫理なども学んだ看護師の育成を目的としている。

●共同大学院・連合大学院等の設置も視野に

教育研究体制としては、共同学部の利点を生かし、学生・教員双方において流動性の高いものとし、看護学科での国家資格にかかわる専門科目以外では、共通の教養・専門教育のほか、3大学における関連の専門教育と卒業研究指導を受けることになる。

また、学部完成後のできるだけ早い時期に、共同大学院または連合大学院等の設置も構想されている。より高度な専門教育・研究のため、固有の装置・設備のほか、3大学の既存の教育・研究施設も活用し、融合した教育研究体制をとる予定だ。

今後、3大学の関係者による設置協議会において、具体的な内容を協議・検討したうえで、文部科学省に設置申請を行うことになる。

地域連携さらに多様化— 広がる教育研究のフィールド

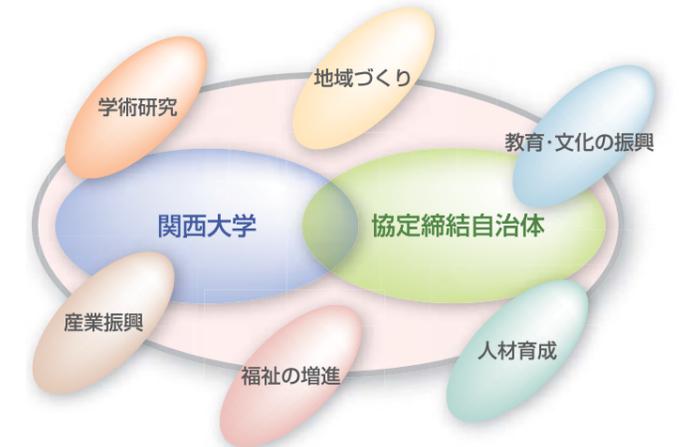
佐賀県武雄市と「連携協力に関する協定」を締結



協定書を交わす樋渡啓祐市長(左)と河田学長

関西大学は佐賀県武雄市と包括的な連携を行うことで合意に達し、2007年11月26日に調印式を行い、「連携協力に関する協定」を結んだ。

この協定は、地域づくり、教育・文化の振興、人材育成、福祉の増進、産業振興、学術研究等の分野で相互に協力し、活力ある



■ 関西大学と協定締結自治体との連携協力イメージ

地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的としている。

本学では、建学当初より、大学の持つ知的資源を社会に還元するため、地域との連携を重視してきた。これまでに高槻市(大阪府)と吹田市(大阪府)、八尾市(大阪府)、明日香村(奈良県)、丹波市(兵庫県)と連携協定を結んでいる。

昨今の地域連携では、学生のかかわりが重要になってきている。地域をフィールドワークとして活用し、学生と教員による教育研究活動を通じて活性化する形態の連携が増えている。次世代社会を担う学生が地域の人々との交流を通じて、地域社会に内在する課題を発見することが期待される。

天神橋筋商店連合会と連携協定

文化拠点とも連携して 地域全体を活性化

関西大学と天神橋筋商店連合会(大阪市北区)は、包括的な連携を行うことで合意に達し、2007年11月29日に大阪天満宮の天満宮会館で協定を締結した。

商店街を単なる利潤追求の場ではなく、公共のものとしてとらえ、学生や地域住民が協力して、街の活性化プラン「街活かし」を継続することで、双方の発展と充実に寄与することを目的としている。

関西大学と天神橋筋商店街の関係は古く、その端緒は今から約80年前にさかのぼる。1929(昭和4)年9月、関西大学は商店街にほど近い場所(現在の大阪市北区長柄西)に天六学舎を開設。1994年(平成6)年に第2部(夜間部)が天六から千里山キャンパスに移転するまで、数多くの勤労学生たちがその地で学んだ。

また一昨年4月に、社会学部社会システムデザイン専攻の学生たちが、天神橋筋商店連合会の協力を得て、「商店街の活性化」をテーマにフィールドワークを行い、報告書にまとめた。それを



調印式で握手を交わす土居年樹・天神橋筋商店連合会会長(左)と河田学長

きっかけに、学生たちが「町街人」の愛称で、観光や買い物に訪れる人々に、名所や目当ての店をはじめ、街の歴史まで幅広く案内する「街のコンシェルジュ」として活躍している。

さらに今回の連携では、商店街とゆかりの深い大阪天満宮や天満天神繁昌亭など地域の文化拠点とも連携し、地域全体の活性化を目指す。